

中小企業景況調査報告書

(第 111 回)

平成20年 7 ~ 9 月期 実 績
平成20年10 ~ 12月期 見通し

平成20年10月

北海道商工会議所連合会

目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	6
(2) 今期の売上高	8
(3) 今期の採算（経常利益）	9
(4) 今期の資金繰り	11
(5) 今期の経営上の問題点	12
(6) 今期の従業員の動向	12
(7) 今期の新規設備投資	13
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	14
(2) 来期の売上高	15
(3) 来期の採算（経常利益）	15
(4) 来期の新規設備投資	16
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	16
2． 建 設 業	18
3． 卸 売 業	20
4． 小 売 業	21
5． サービス業	23
． 業 種 別 調 査 資 料	25

調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成20年9月
- (2) 調査対象期間 平成20年7～9月期実績及び平成20年10～12月期の見通し

2. 調査対象

(1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

商工会議所の景気判断

道内各地商工会議所が相談指導業務等を通じて得られる地域の特徴的事例

「製造業」「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」の各業界組合・企業が肌で感じる生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

4. 業種別・規模別回答状況（社数）

(1) 中小企業景況調査

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	41	55	45	71	61	273
中規模	18	14	29	18	32	111
合計	59	69	74	89	93	384
構成比(%)	15.3	18.0	19.2	23.2	24.3	100.0

(2) 業界動向調査

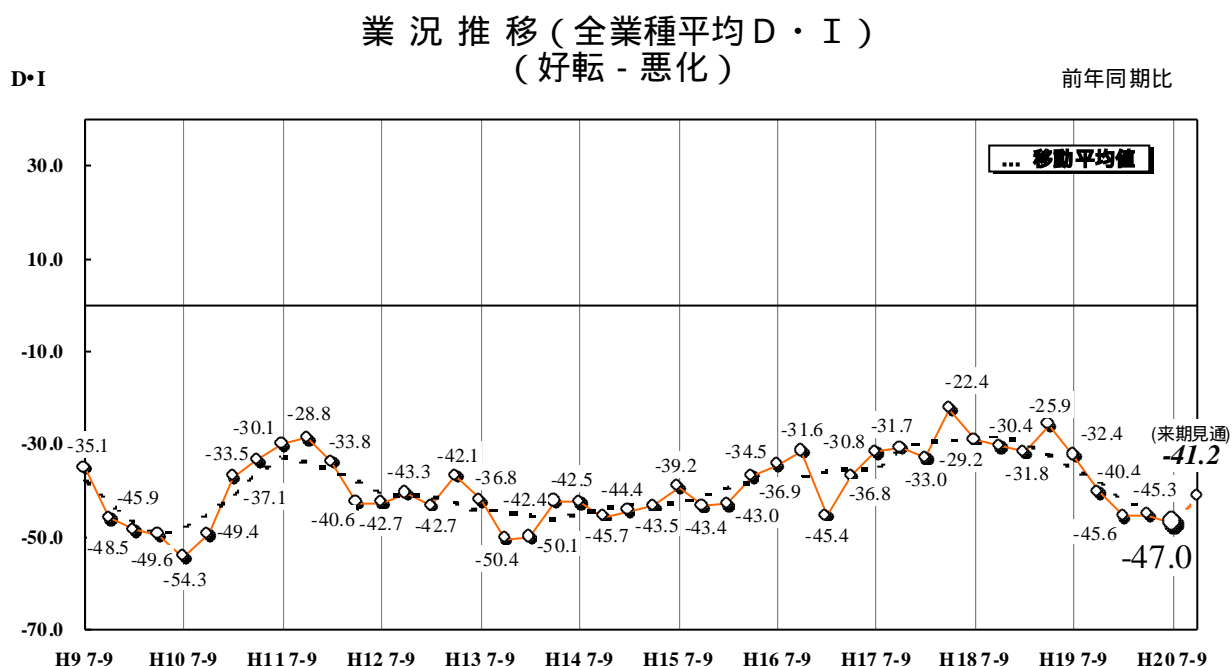
- ・業界動向ヒアリング先 製造業19社、建設業15社、卸売業5社、
小売業16社、サービス業26社、合計81社

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

概 況

- 7-9月期の水準ではバブル以降ワースト2となる厳しい状況 -



今期の業況

四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期（7月～9月期）の全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前期比（平成20年4月～6月期の水準と比較した今期の業況）では 33.2、前年同期比（平成19年7月～9月期の水準と比較した今期の業況）では 47.0と、業況は依然マイナスの水準で推移している。

前回の調査（平成20年4月～6月期）時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前期比で前回 27.9 今回 33.2と5.3ポイントマイナス幅を拡大しており、前年同期比では前回 45.3 今回 47.0と1.7ポイントマイナス幅を拡大している。

業種別では、前年同期比で製造 38.9、建設 58.1、卸売 44.5、小売 47.2、サービス 46.1と、製造業・卸売業でマイナス幅が縮小しているものの、建設業・小売業・サービス業でマイナス幅が拡大する結果となった。

業況を札幌市とそれ以外の地域で見ると、業況D・Iは前年同期比で札幌市 46.4（前回調査 44.0）、札幌以外の地域 47.3（前回調査 46.1）となっており、札幌市以外の地域がより厳しい状況との結果となった。

来期の業況見通しでは、全業種平均D・I値で、前年同期比（平成19年10月～12月期の水準と比較した来期の見通し）では 41.2と、今期の水準（50.1）より8.9ポイントと改善する見通しとなっている。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、全業種で「需要の停滞」が高いウエイトを占めている他、製造業では「原材料価格の上昇」（49.8%）、建設業では「請負単価の低下・上昇難」（14.1%）、卸売業では「仕入単価の上昇」（17.4%）、小売業では「大型・中型店進出競争の激化」（17.5%）、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」（12.0%）及び「人件費以外の経費の増加」（12.0%）などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で12.1%と、前回調査時（13.9%）より1.8%低下、来期新規設備を投入する予定と回答した企業は全業種平均で7.8%と、依然、慎重な動きが続いている。

産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値（前年同期比） 38.9（来期見通し 27.6）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成20年4月～6月期）時点からの推移では、前回 41.9 今回 38.9と3.0ポイントマイナス幅が改善した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「原材料価格の上昇」によるコストの上昇などを訴える声が出ています。

〔主なコメント〕

・燃料高騰、原材料高騰による、製造・流通コストの上昇を吸収するための価格転嫁は限界。

（紙パルプ製造業）

・全体として受注は好調。原材料価格の高騰の問題と熟練従業員など人材確保が課題。（鉄鋼業）

・原料高による値上げを行い売上増となったが、原料分の値上げしかしておらず、その他の経費上昇のため利益は低下している。（食料品製造）

・本州業者の売り込みが影響し、競争の激化で売上は減少した。（印刷業）

【建設業】 [業況D・I値（前年同期比） 58.1（来期見通し 58.2）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成20年4月～6月期）時点からの推移では、前回 53.1 今回 58.1と5.0ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「建築資材の高騰」や「競争の激化」による利益率の悪化などの声がでている。

〔主なコメント〕

- ・公共事業の減少、資材価格の高騰により厳しい状況が続いている。また、建築確認申請件数は過去最低のペースで推移している。（建設業）
- ・公共工事の受注量は昨年以上に悪化している。見積もり後の建築資材の高騰でコストの吸収が出来ず経営を圧迫している。民間建築は、競争激化と資材のコストアップで利益幅は減少している。雇用形態も社会保険料負担が大きいため外注に移行している。（建設業）
- ・金融不安や生活費の高騰により、建築需要は減少している。（建設業）

【卸売業】 [業況D・I値（前年同期比） 44.5（来期見通 35.6）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成20年4月～6月期）時点からの推移では、前回 44.9 今回 44.5と0.4ポイントマイナス幅を改善した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「原材料・燃料の高騰」「仕入単価の上昇」による採算悪化の声が目立つ。

〔主なコメント〕

- ・食品をはじめ多くの原材料の高騰が止まらず、仕入れ単価が上昇しており、採算は悪化の一途である。（各種商品卸売）
- ・小売店の廃業等による販売先の減少・販売先の売上減少が目立っている。原油価格高騰などによる物流コストの増加が経営上を圧迫している。（食料・飲料卸売）
- ・消費低迷による、売上の減少・販路縮小の影響を受けている。（卸売業）

【小売業】 [業況D・I値（前年同期比） 47.2（来期見通 40.7）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成20年4月～6月期）時点からの推移では、前回 44.4 今回 47.2と2.8ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「大型店の影響」等による購買力の流出、「個人消費の低迷」などによる売上の減少を訴える声が多い。

〔主なコメント〕

- ・仕入れ単価の上昇に加え燃料等の諸経費が増加し経営を圧迫している。景気の先行き不透明感から買い控えが浸透している。（小売業）

- ・大型店、ショッピングモールへの顧客の流出で、売上が減少している。特に若年層の流出が著しい。（小売業）
- ・原油価格の高騰の影響からガソリンなどの需用が停滞し極めて厳しい経営状態にある。石油製品の価格が上がっても、利幅は変わらないため資金の回転が大変である。（燃料小売）
- ・競争の激化により販売価格低下が免れないことと、消費者一人当たりの買い上げ件数が減少していることも経営上の問題になっている。（大型店）

【サービス業】 [業況D・I値（前年同期比） 46.1（来期見通 43.9）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成20年4月～6月期）時点からの推移では、前回 42.4 今回 46.1と3.7ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは「利用客の減少」に加え「燃料の高騰」や「仕入価格の上昇」による採算・業況悪化の声が多く寄せられている。

〔主なコメント〕

- ・利用客数の減少に加え、原油価格高騰による仕入れ単価上昇により採算は悪化している。（ホテル）
- ・燃料の高騰が経営圧迫の一番大きい要因である。また、少ない仕事を奪い合う同業者での競合による、料金値下げも経営を圧迫している。（運輸業）
- ・廃業、倒産等の影響により整備受注は減少傾向が続いている。（自動車整備）
- ・節約ムードが強く売上低迷に加え価格競争が激しく厳しい状況である。（クリーニング）

道内各商工会議所の相談窓口からみた地域の特徴的事例

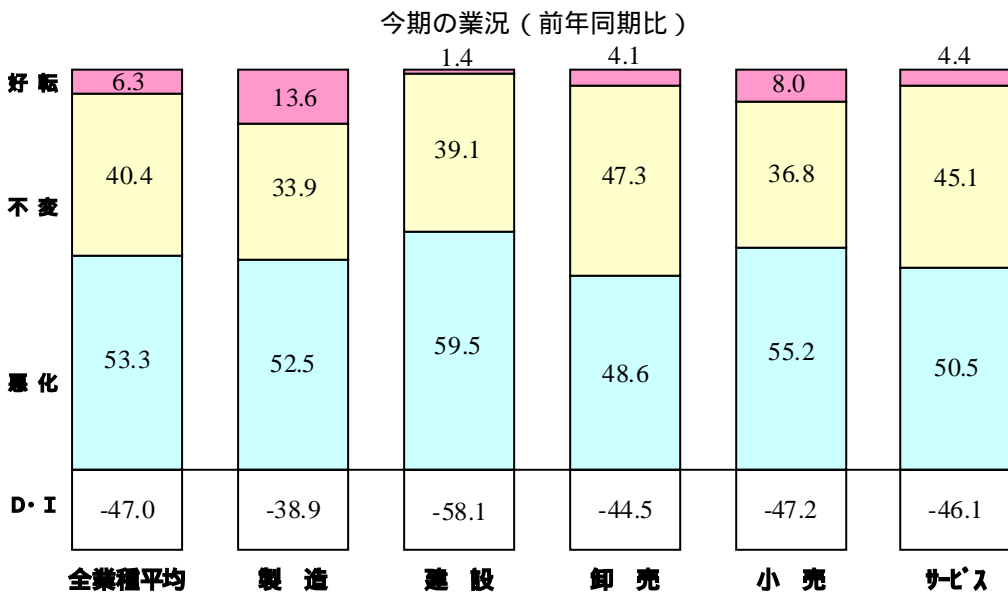
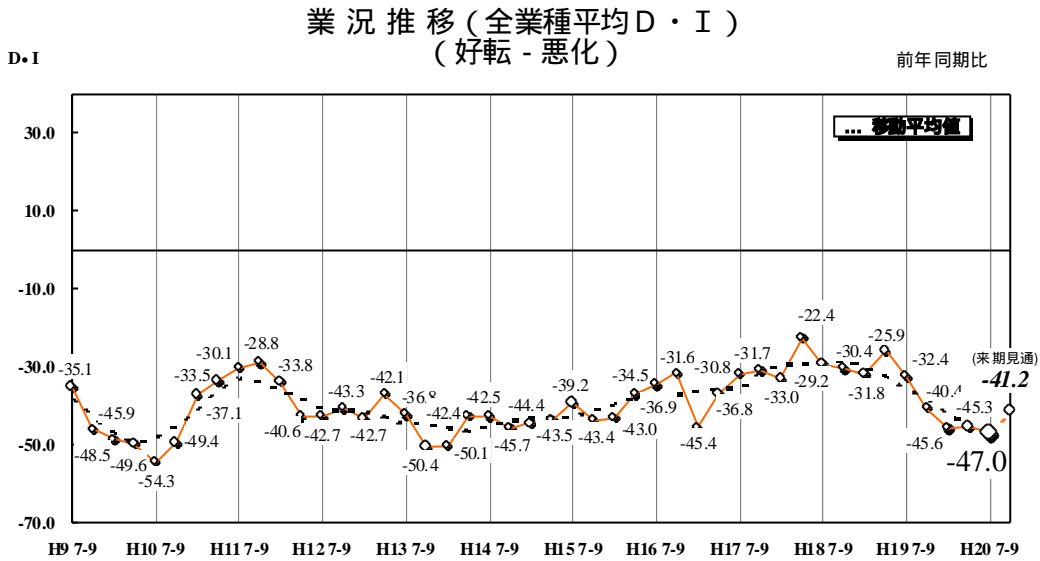
道内各商工会議所の相談窓口（中小企業相談所）からみた状況については、「建設関連が去年以上に厳しい状況。」「洞爺湖サミットが終了したが、今のところ観光産業に目立った効果が出ていない。」「地域経済動向は好材料に乏しく中堅企業の倒産が続いている。」など厳しい声が出ています。

今期の小規模事業者向けの経営改善資金（マル経資金）の斡旋状況は、地域によりばらつきが見られるが、累計金額で前年同期比より増加している会議所が多く、「設備資金」「運転資金」共に利用されている。

1. 今期の業況

(1) 今期の業況

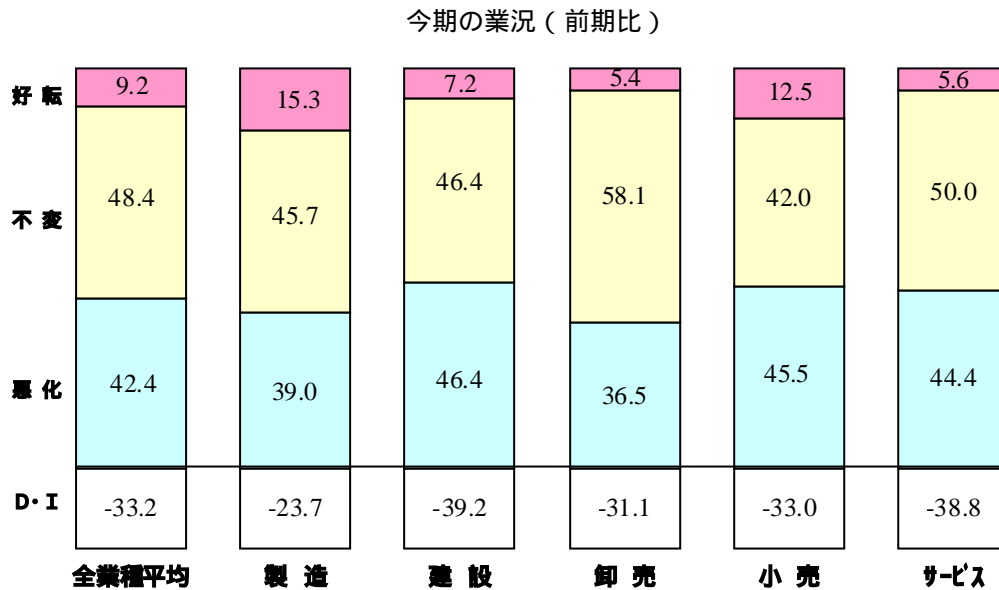
【前年同期比】（平成19年7～9月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 **47.0**〔前回調査時（平成20年4～6月期 45.3）より1.7ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 41.9 38.9〕、建設〔前回 53.1 58.1〕
卸売〔前回 44.9 44.5〕、小売〔前回 44.4 47.2〕
サービス〔前回 42.4 46.1〕

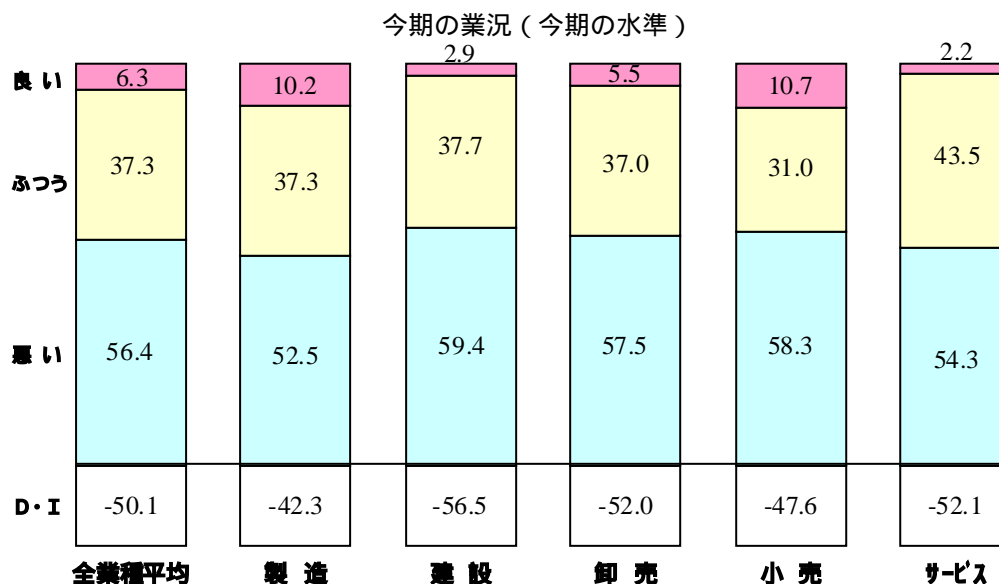
【前期比】（平成20年4～6月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 **33.2**〔前回調査時（平成20年4～6月期 27.9）より5.3ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 23.8 23.7〕、建設〔前回 30.3 39.2〕
卸売〔前回 26.6 31.1〕、小売〔前回 31.1 33.0〕
サービス〔前回 27.5 38.8〕

【今期の水準】

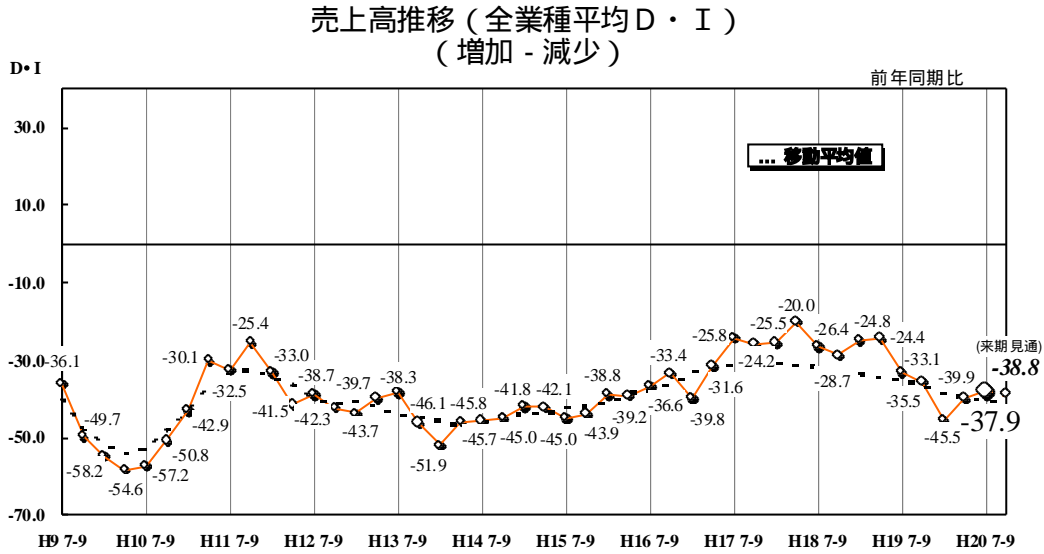


全業種平均でD・I値 **50.1**〔前回調査時（平成20年4～6月期 51.4）より1.3ポイントマイナス幅が改善〕。

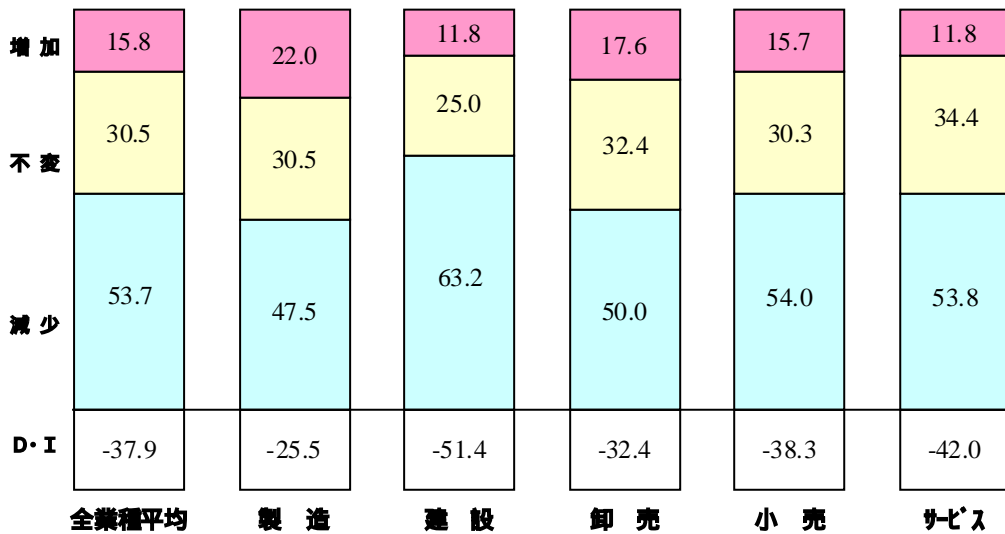
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 50.7 42.3〕、建設〔前回 62.2 56.5〕
卸売〔前回 56.5 52.0〕、小売〔前回 53.2 47.6〕
サービス〔前回 34.4 52.1〕

(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成19年7～9月期の水準と比較した今期の売上高）



今期の売上高（前年同期比）

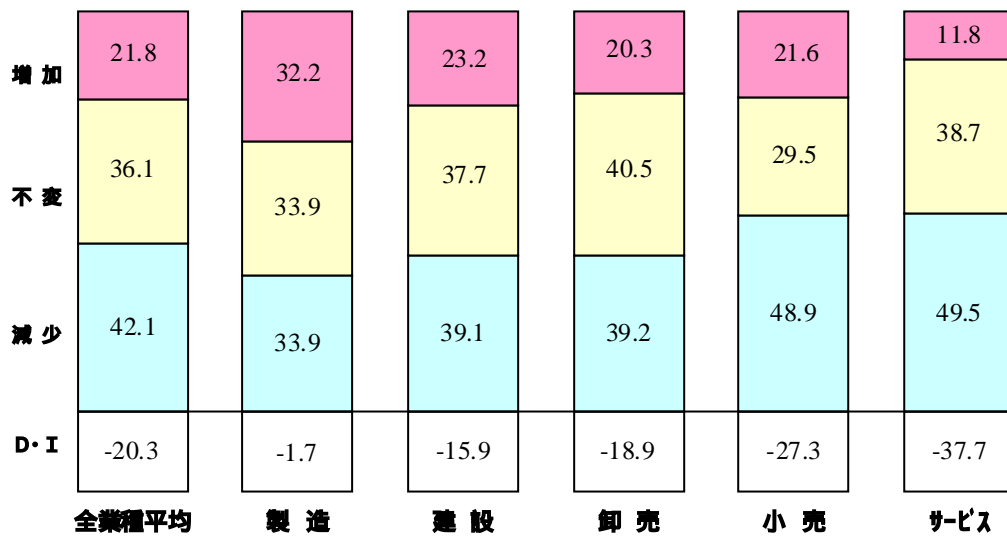


全業種平均でD・I値 **37.9**〔前回調査時（平成20年4～6月期 39.9）より2.0ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 31.8 25.5〕、建設〔前回 63.1 51.4〕
卸売〔前回 30.3 32.4〕、小売〔前回 36.2 38.3〕
サービス〔前回 38.0 42.0〕

【前期比】（平成20年4～6月期の水準と比較した今期の売上高）

今期の売上高（前期比）



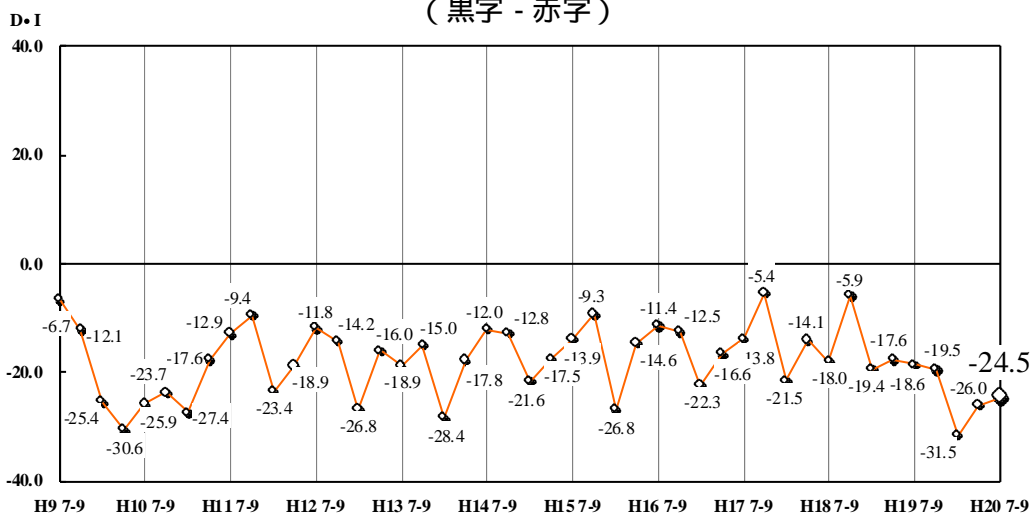
全業種平均でD・I値 **20.3**〔前回調査時（平成20年4～6月期 13.6）より6.7ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 3.1 1.7〕、建設〔前回 30.8 15.9〕
卸売〔前回 6.3 18.9〕、小売〔前回 10.0 27.3〕
サービス〔前回 18.2 37.7〕

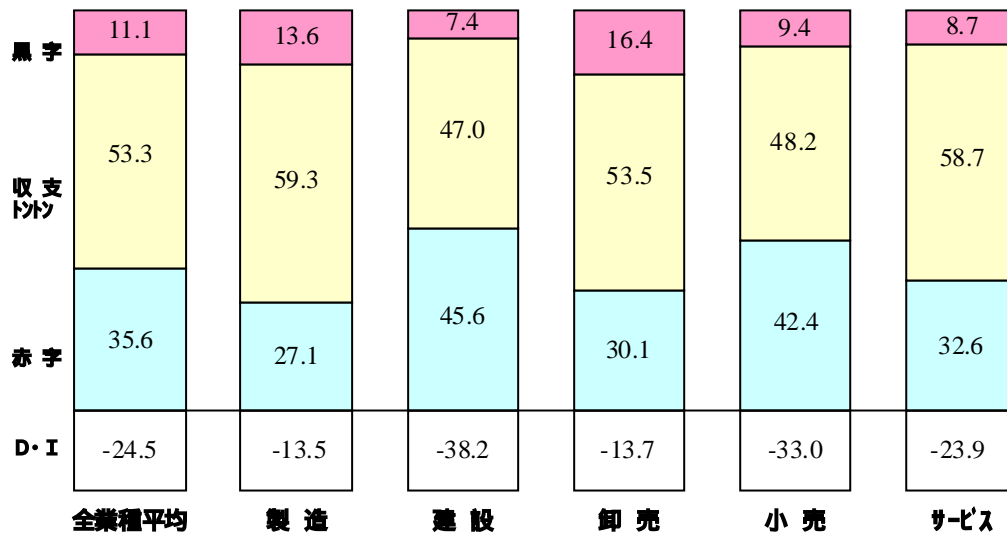
(3) 今期の採算（経常利益）

【今期水準】

採算推移（全業種平均D・I）
（黒字 - 赤字）



今期の採算（今期の水準）

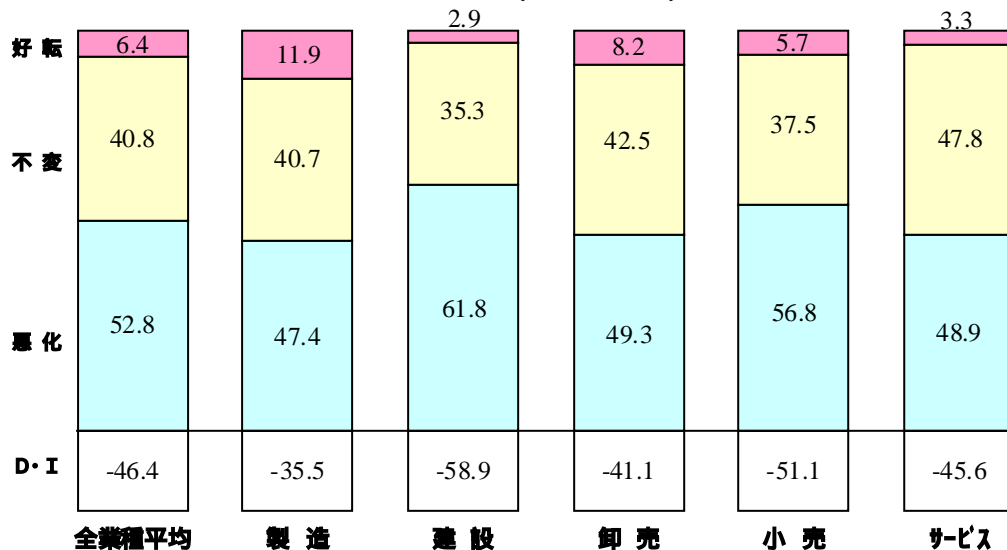


全業種平均でD・I値 **24.5**〔前回調査時（平成20年4～6月期 26.0）より1.5ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 19.0 13.5〕、建設〔前回 42.3 38.2〕
卸売〔前回 16.7 13.7〕、小売〔前回 33.3 33.0〕
サービス〔前回 18.3 23.9〕

【前年同期比】（平成19年7～9月期の水準と比較した今期の採算）

今期の採算（前年同期比）

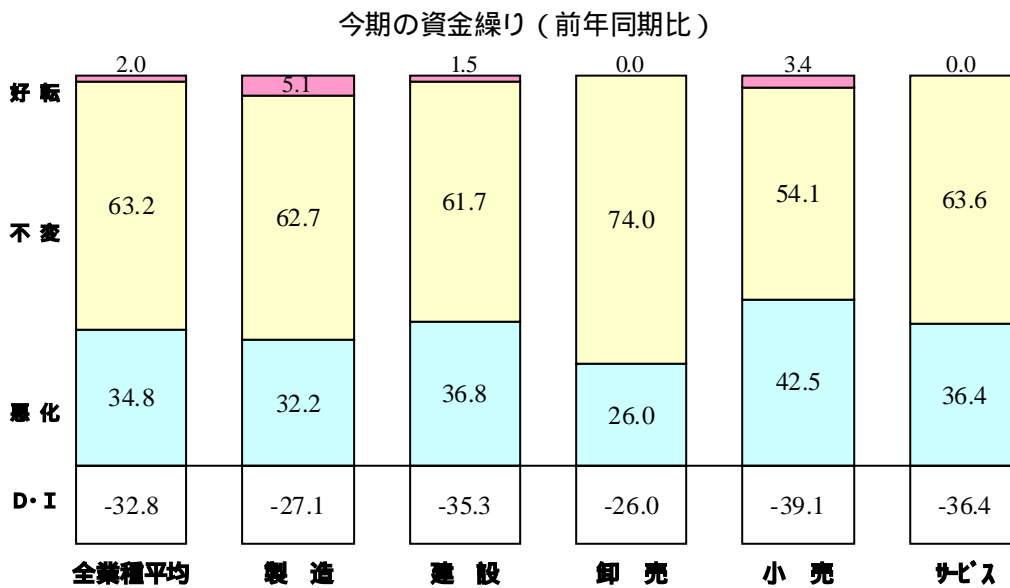
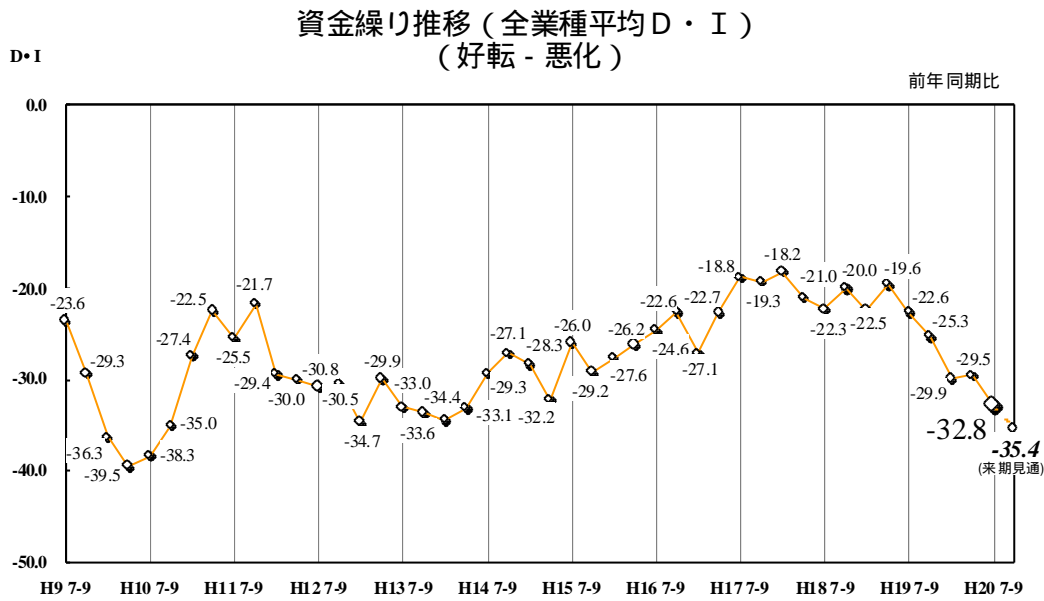


全業種平均でD・I値 **46.4**〔前回調査時（平成20年4～6月期 46.7）より0.3ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 38.1 35.5〕、建設〔前回 58.2 58.9〕
卸売〔前回 34.1 41.1〕、小売〔前回 52.7 51.1〕
サービス〔前回 50.5 45.6〕

(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成19年7～9月期の水準と比較した今期の資金繰り）



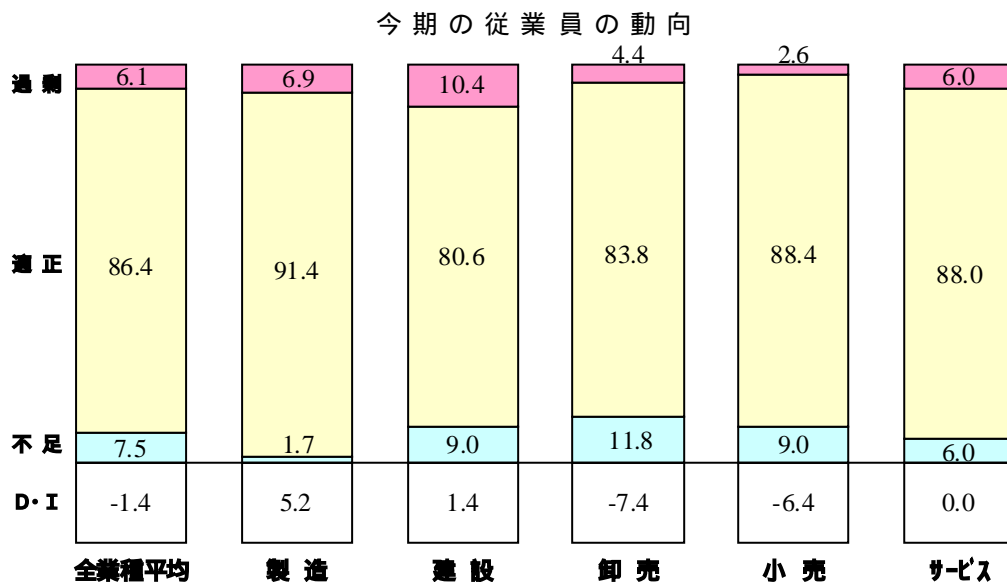
全業種平均でD・I値 **32.8**〔前回調査時（平成20年4～6月期 29.5）より3.3ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 31.7 27.1〕、建設〔前回 30.7 35.3〕
卸売〔前回 23.4 26.0〕、小売〔前回 33.0 39.1〕
サービス〔前回 28.8 36.4〕

(5) 今期の経営上の問題点（1位に挙げられた項目）

製造業	「原材料価格の上昇」	(49.8%) [前回 46.3%]
	「需要の停滞」	(27.8%) [前回 33.9%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(9.3%) [前回 5.4%]
建設業	「官公需要の停滞」	(30.8%) [前回 31.2%]
	「民間需要の停滞」	(24.6%) [前回 21.8%]
	「請負単価の低下・上昇難」	(18.5%) [前回 14.1%]
卸売業	「需要の停滞」	(50.9%) [前回 50.6%]
	「仕入単価の上昇」	(17.4%) [前回 22.1%]
	「人件費以外の経費の増加」	(8.7%) [前回 7.8%]
小売業	「需要の停滞」	(29.4%) [前回 25.4%]
	「大型・中型店進出競争の激化」	(17.5%) [前回 21.9%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(12.9%) [前回 10.3%]
サービス業	「需要の停滞」	(32.8%) [前回 30.9%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(12.0%) [前回 15.5%]
	「人件費以外の経費の増加」	(12.0%) [前回 7.1%]

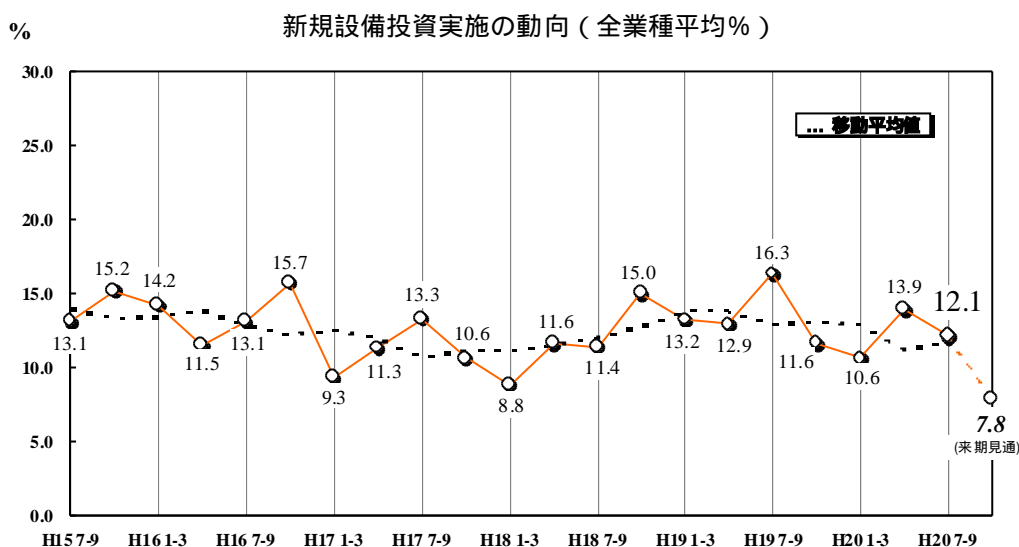
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では 1.4〔前回調査時（平成20年4～6月期 1.8）〕と「不足」に傾斜しているが、「適正」（86.4%）とする企業が大勢を占めている。

[業種別D・I値] 製造〔前回 1.6 5.2〕（適正91.4%）
 建設〔前回 3.0 1.4〕（適正80.6%）
 卸売〔前回 4.0 7.4〕（適正83.8%）
 小売〔前回 3.6 6.4〕（適正88.4%）
 サービス〔前回 6.0 0.0〕（適正88.0%）

(7) 今期の新規設備投資



今期の新規設備投資の動向

（単位％）

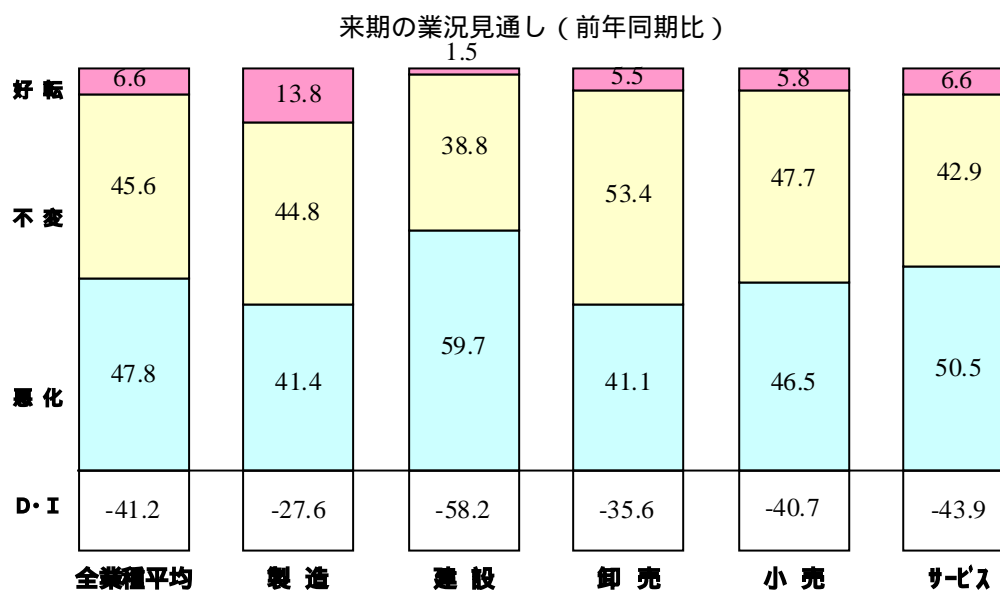
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	13.8	13.2	8.1	10.3	15.2	12.1
土地	25.0	11.1	16.7	0.0	14.3	13.4
工場建物、建物、店舗	12.5	0.0	0.0	22.2	14.3	9.8
生産・販売・サービス設備、建設機械	25.0	11.1	16.7	33.3	21.4	21.5
車両運搬具	0.0	11.1	16.7	33.3	28.6	17.9
倉庫・駐車場等の付帯施設	37.5	22.2	0.0	11.1	21.4	18.4
O A 機器	25.0	22.2	66.7	22.2	21.4	31.5
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	1.4
その他	0.0	44.4	0.0	11.1	7.1	12.5
実施していない	86.2	86.8	91.9	89.7	84.8	87.9

新たに設備投資を実施した企業は平均で**12.1%**〔前回調査時（平成20年4～6月期13.9%）より1.8%減少〕、業種別では製造〔前回17.5% 13.8%〕、建設〔前回10.4% 13.2%〕、卸売〔前回16.5% 8.1%〕、小売〔前回11.0% 10.3%〕、サービス〔前回14.3% 15.2%〕と、建設、サービスで前回調査時の水準を上回った。

2. 来期の見通し

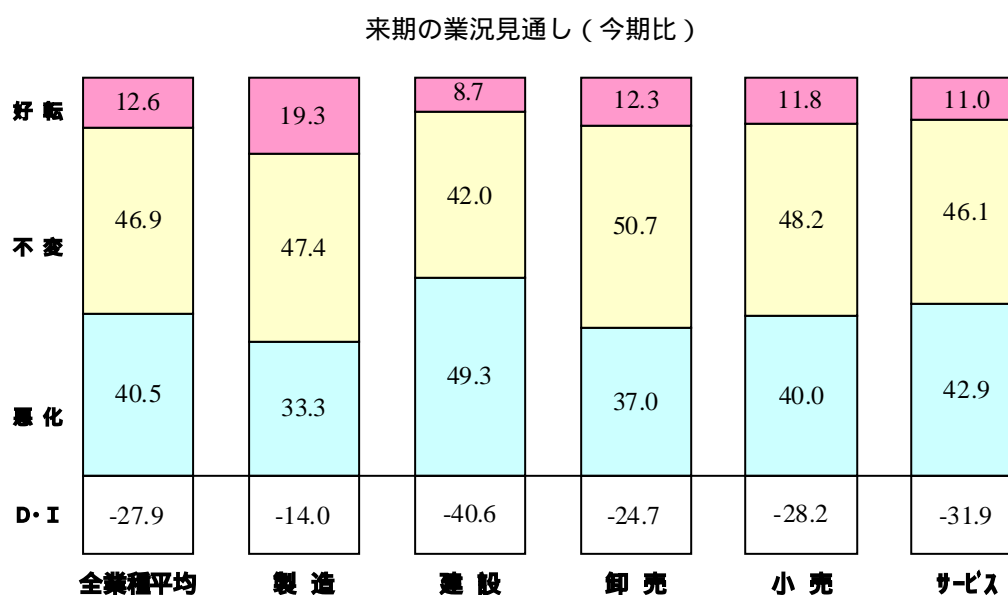
(1) 来期の業況

【前年同期比】（平成19年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 **41.2**〔今期の業況（前年同期比 35.9）より5.3ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。

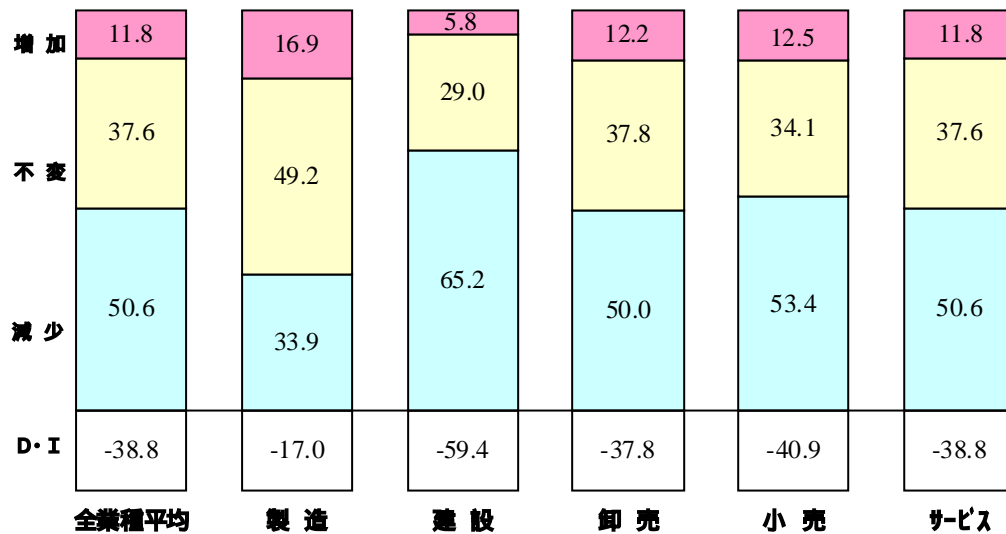
【今期比】（平成20年7～9月期の水準と比較した来期の見通し）



(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成19年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し（前年同期比）

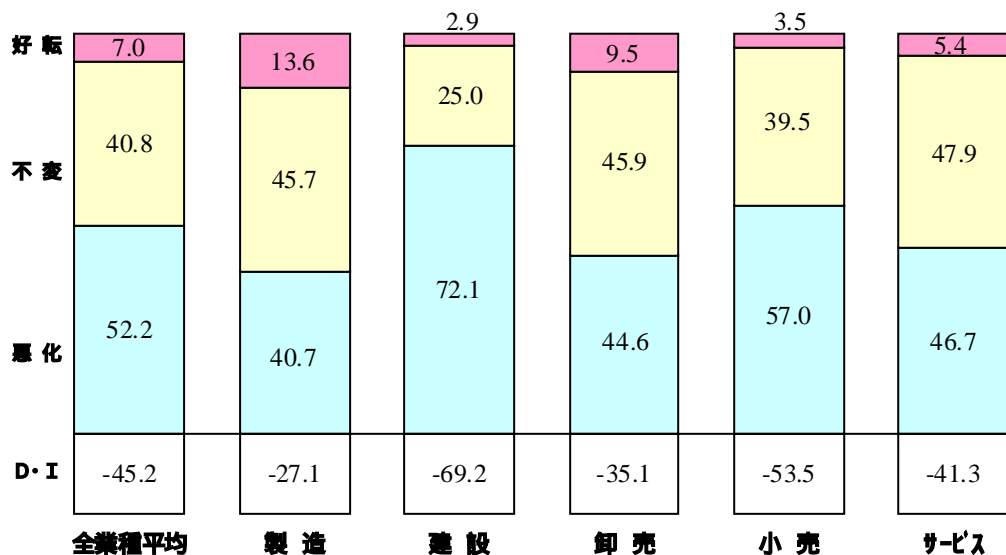


全業種平均でD・I値 **38.8**〔今期の売上高（前年同期比 34.1）より4.7ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成19年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の採算見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値 **45.2**〔今期の採算（前年同期比 45.5）より0.3ポイントマイナス幅が改善する見通し〕。

(4) 来期の新規設備投資

来期の新規設備投資の動向

(単位%)

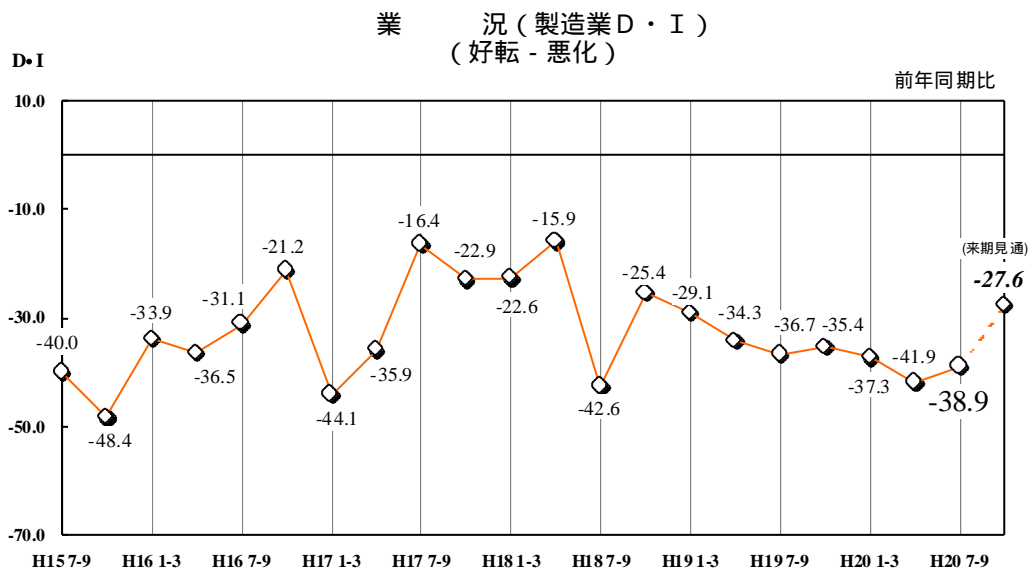
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	8.6	2.9	9.6	4.7	13.0	7.8
土地	20.0	0.0	0.0	25.0	0.0	9.0
工場建物、建物、店舗	0.0	0.0	14.3	25.0	16.7	11.2
生産・販売・サービス設備、建設機械	20.0	0.0	14.3	25.0	50.0	21.9
車両運搬具	20.0	0.0	0.0	25.0	8.3	10.7
倉庫・駐車場等の付帯施設	20.0	0.0	0.0	25.0	33.3	15.7
OA機器	40.0	100.0	71.4	50.0	33.3	58.9
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	25.0	16.7	8.3
	91.4	97.1	90.4	95.3	87.0	92.2

新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**7.8%**となっており、今期(12.1%)を下回る見通し。

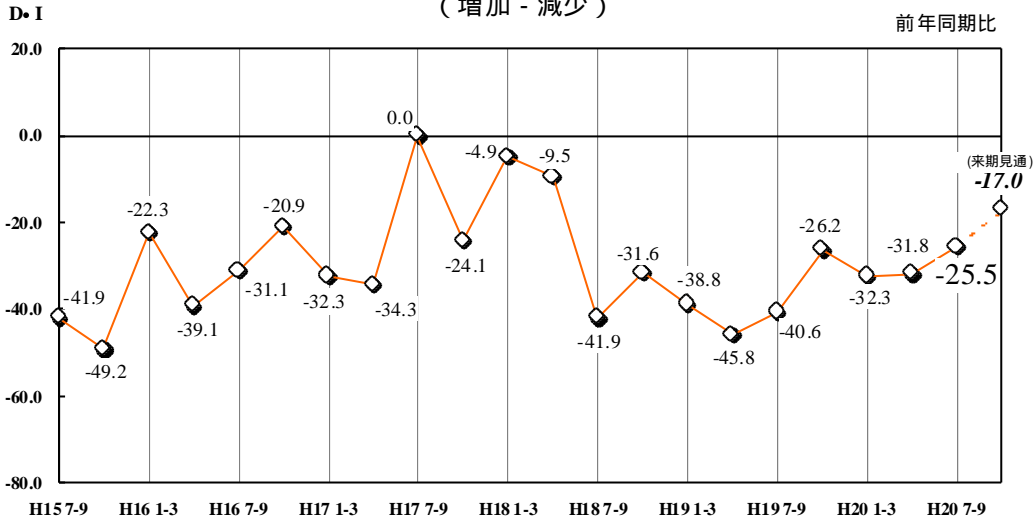
業種別では、製造〔今期13.8% 8.6%〕、建設〔今期13.2% 2.9%〕、卸売〔今期8.1% 9.6%〕、小売〔今期10.3% 4.7%〕、サービス〔今期15.2% 13.0%〕となっている。

業種別の動向

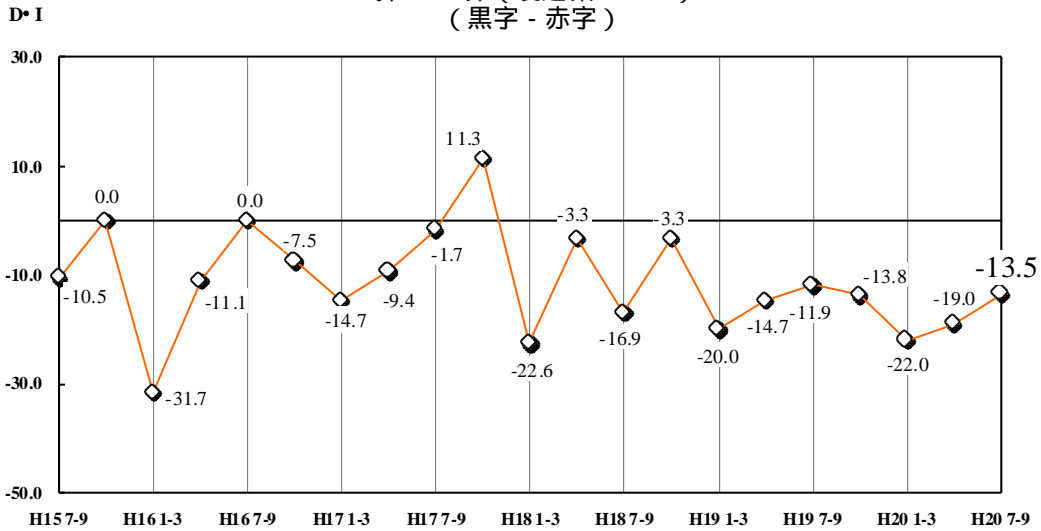
(1) 製造業



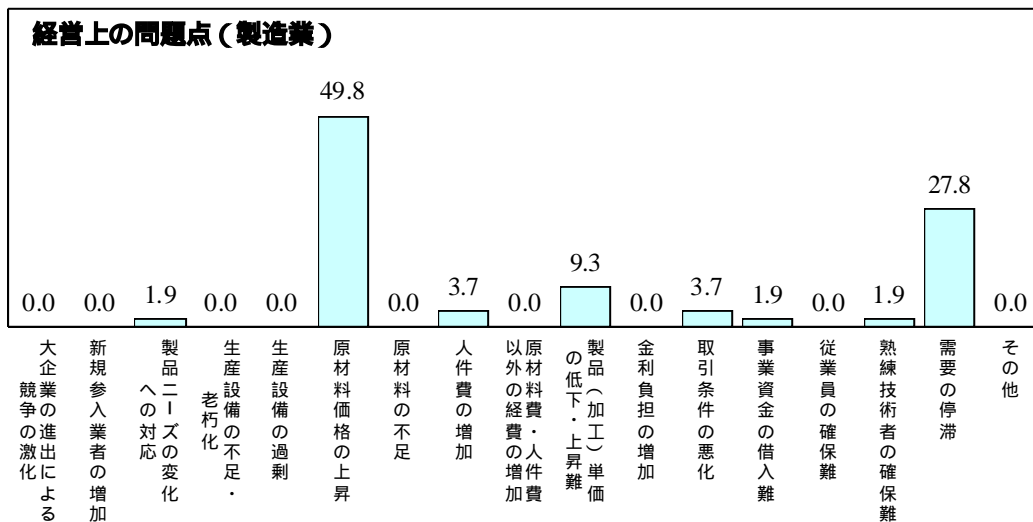
売上高（製造業D・I）
（増加 - 減少）



採算（製造業D・I）
（黒字 - 赤字）



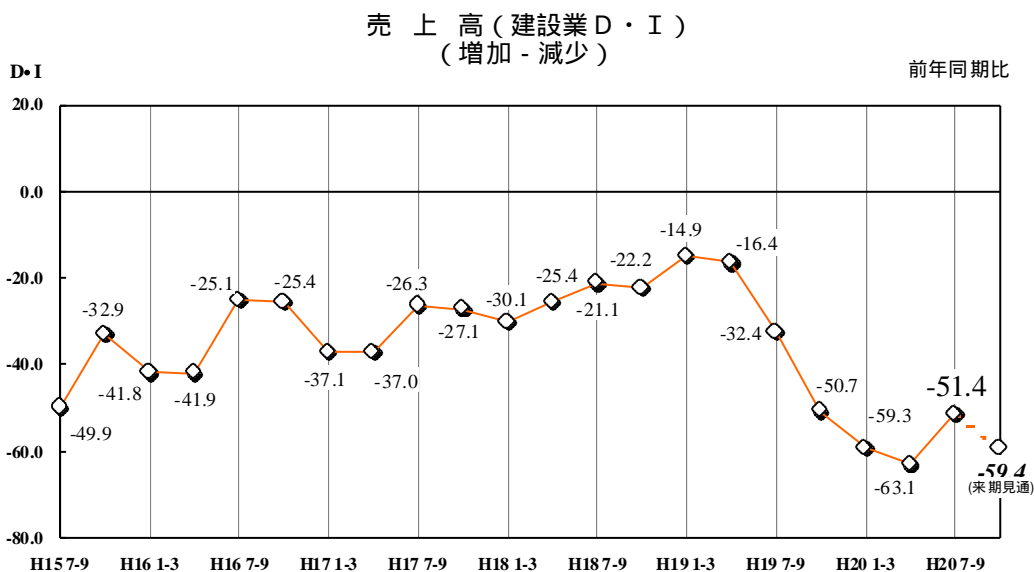
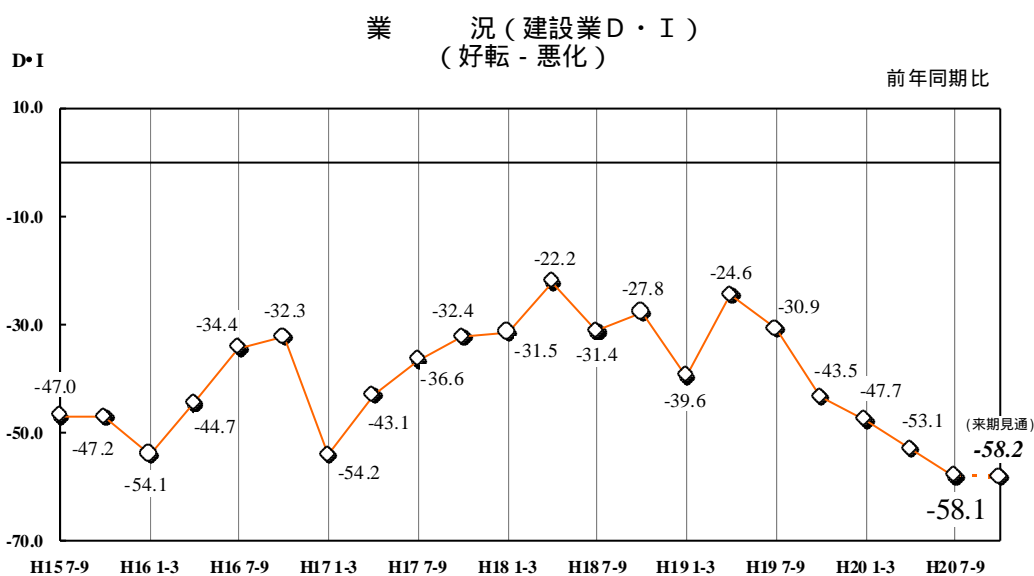
経営上の問題点



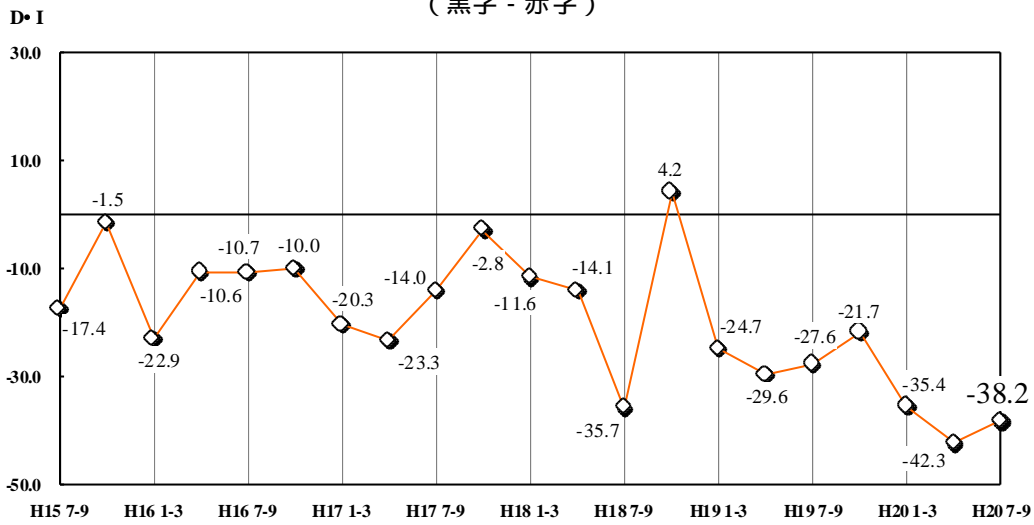
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	27.1	20.3	23.7 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	11.1	11.1 (今期比)
短期 "	-----	7.4	5.5 (今期比)
設 備 操 業 率	24.5	-----	17.6 (前年同期比)

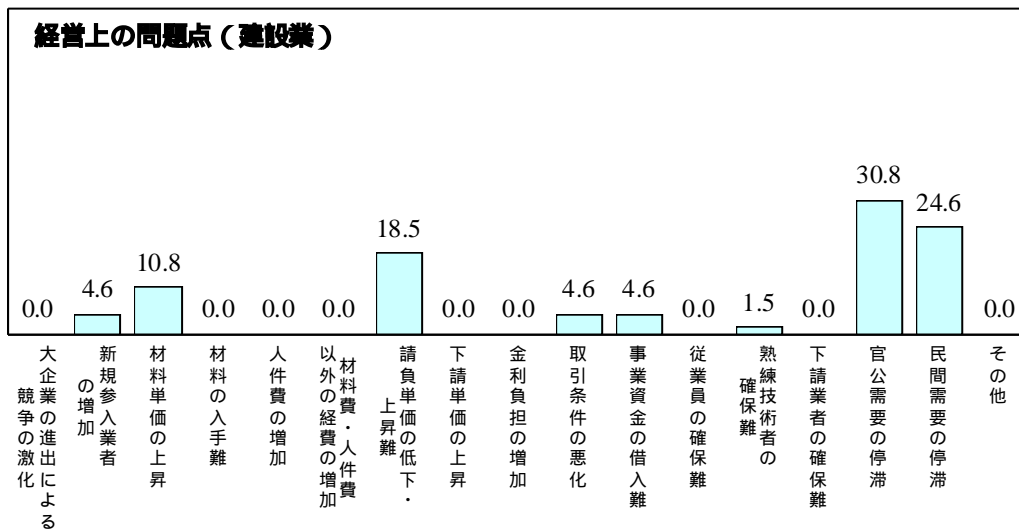
(2) 建設業



採 算 (建設業D・I)
(黒字 - 赤字)



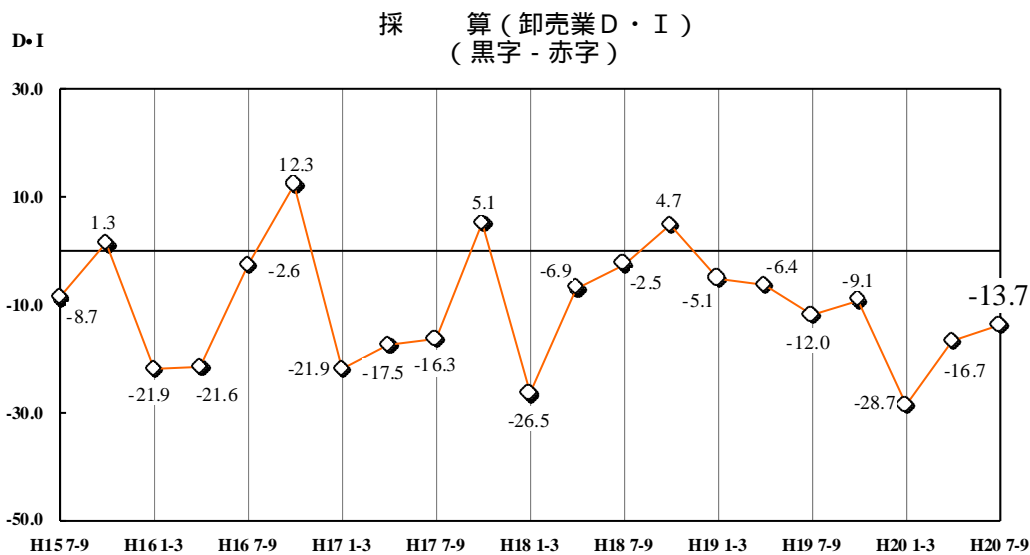
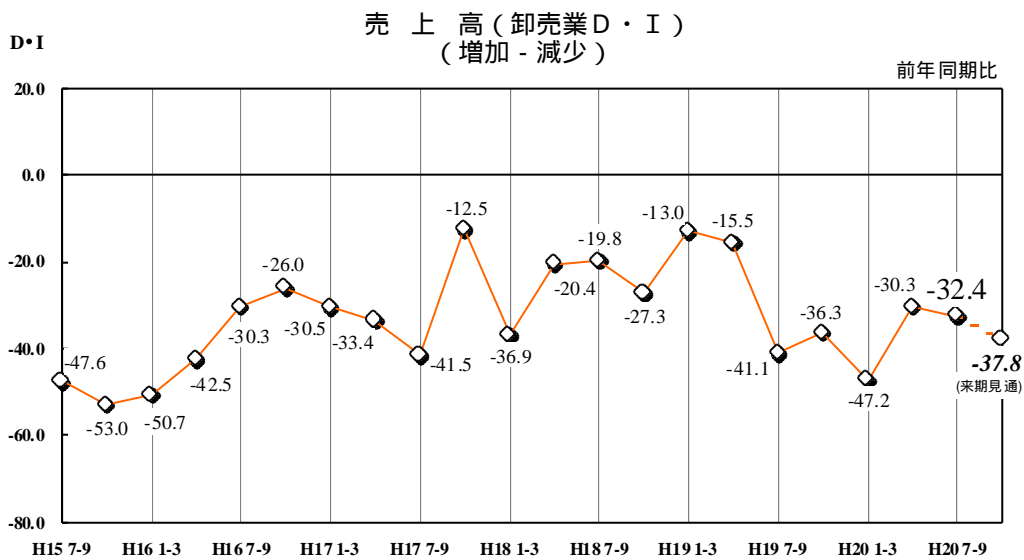
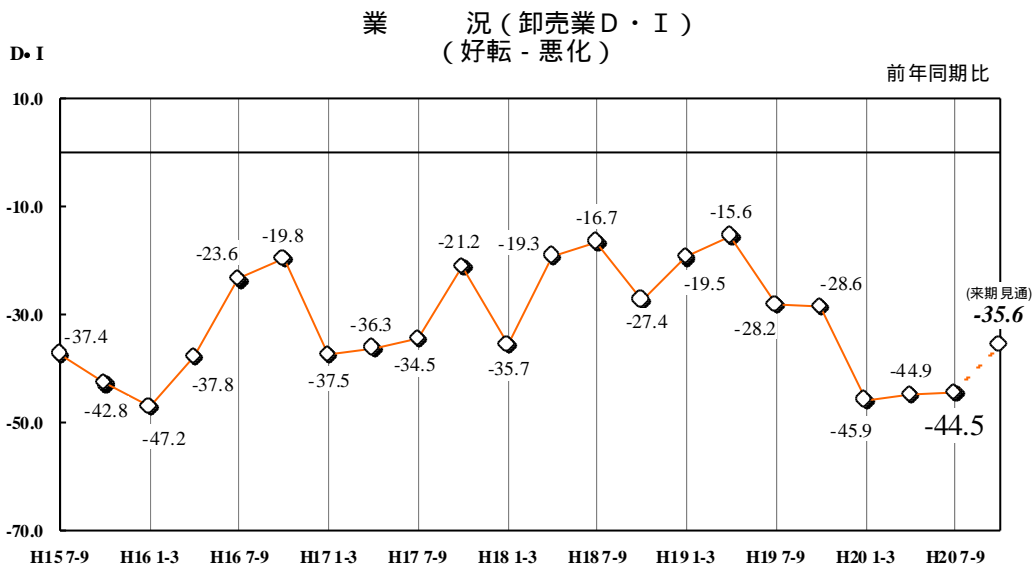
経営上の問題点



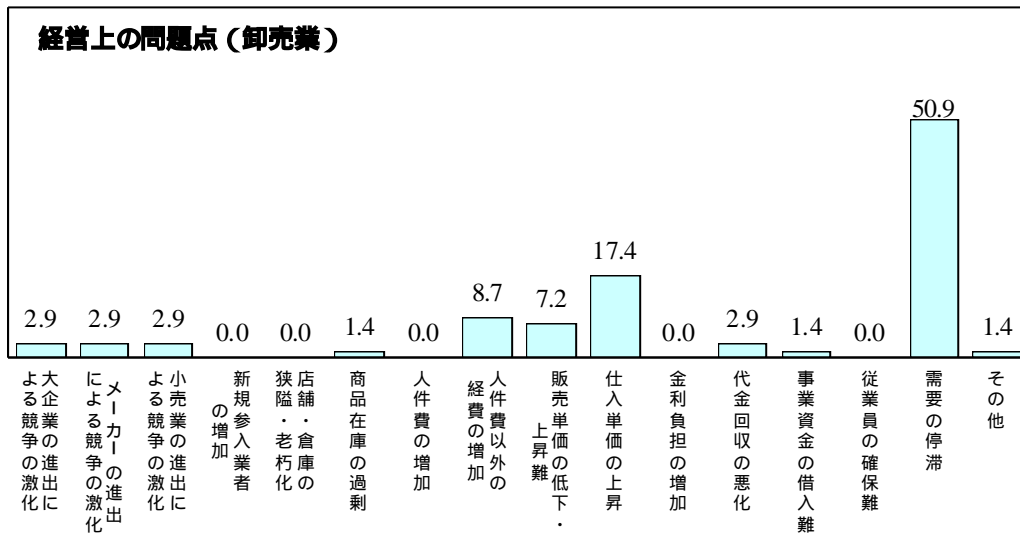
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	35.3	30.9	51.6 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	14.8	19.7 (今期比)
短期 "	-----	8.2	14.8 (今期比)
受注(新規契約工事)額	59.5	-----	63.9 (前年同期比)

(3) 卸 売 業



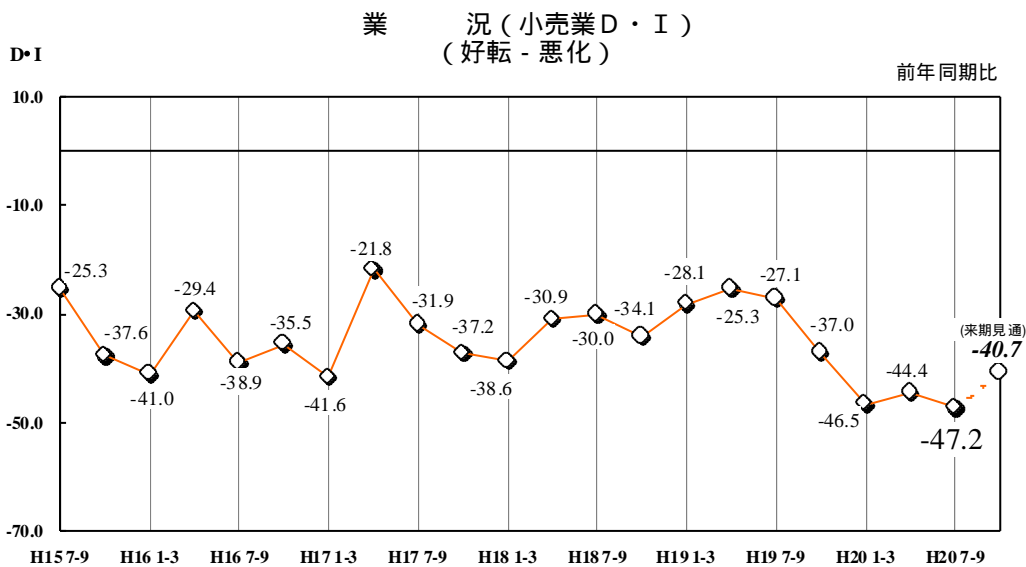
経営上の問題点

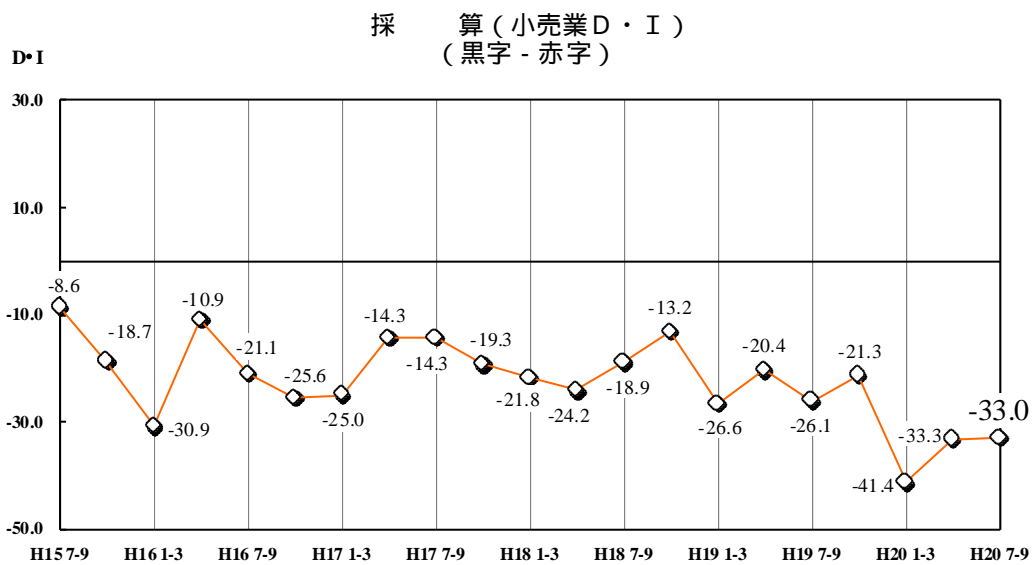
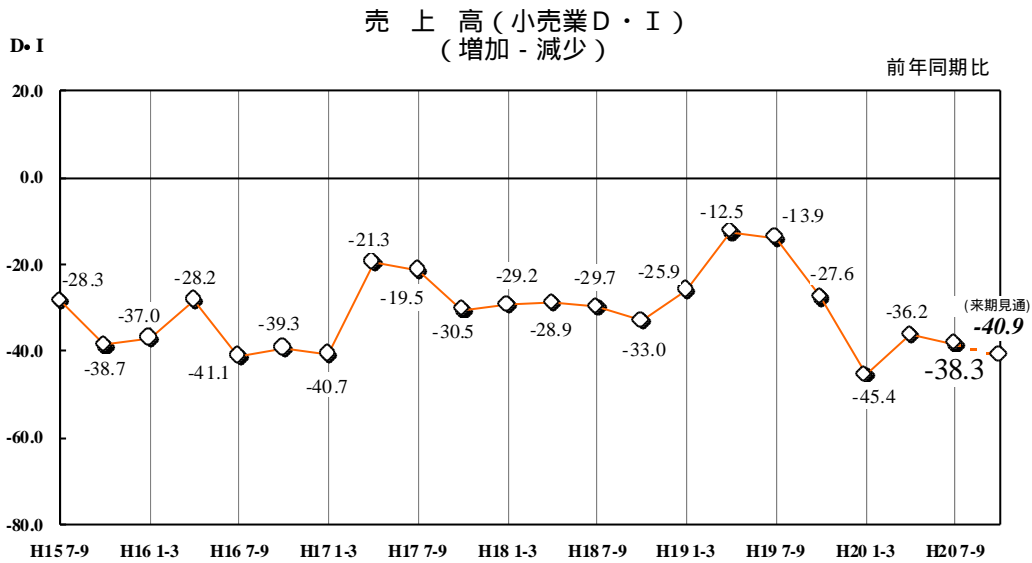


その他（D・I値）

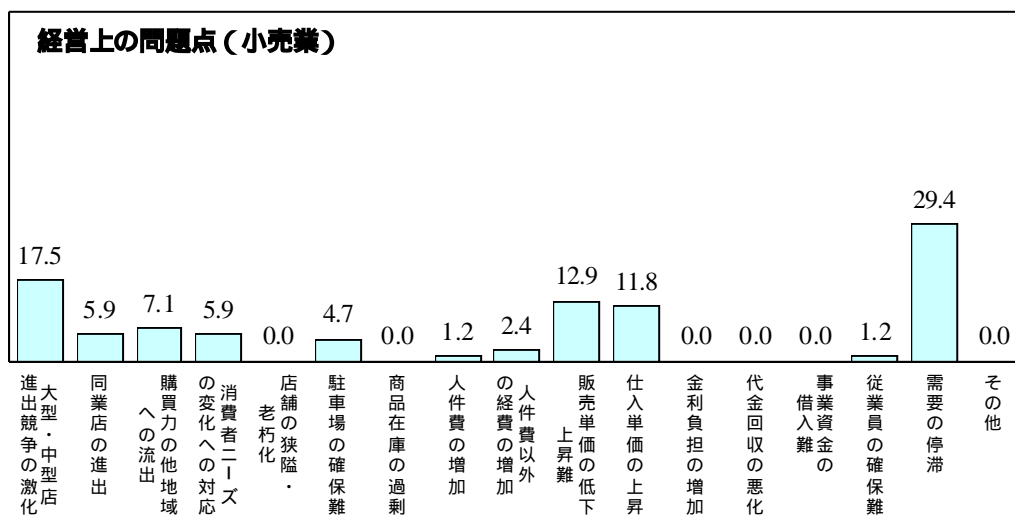
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資金繰り	26.0	16.4	26.0 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	8.7	5.8 (今期比)
短期 "	-----	2.9	2.9 (今期比)
商品在庫数量	27.4	-----	25.7 (前年同期比)

(4) 小 売 業





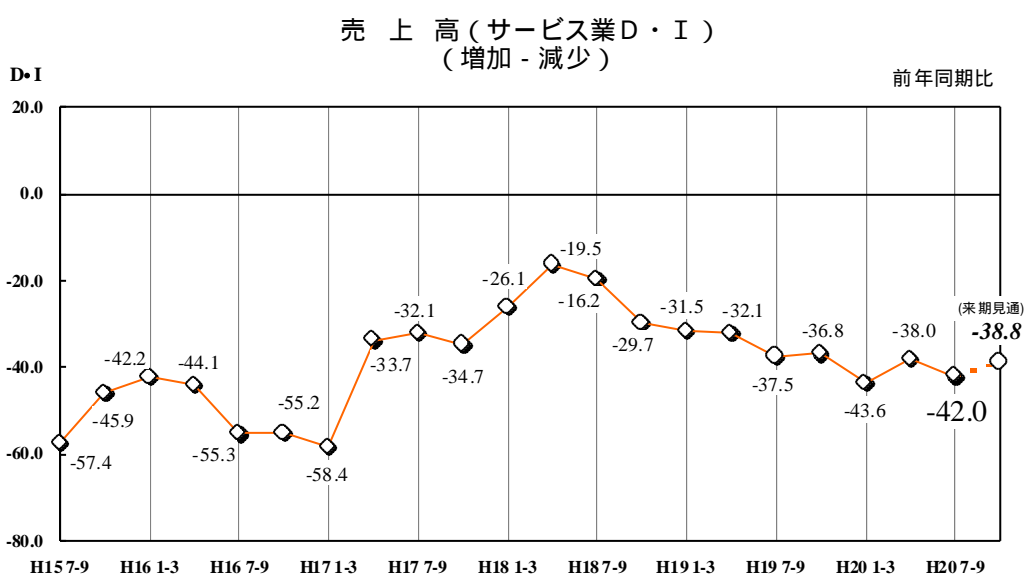
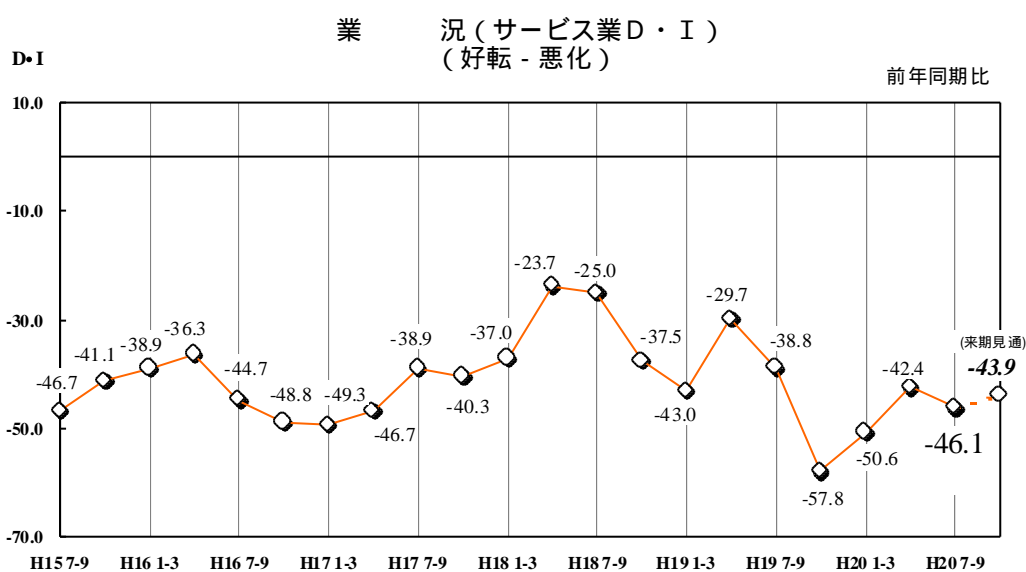
経営上の問題点

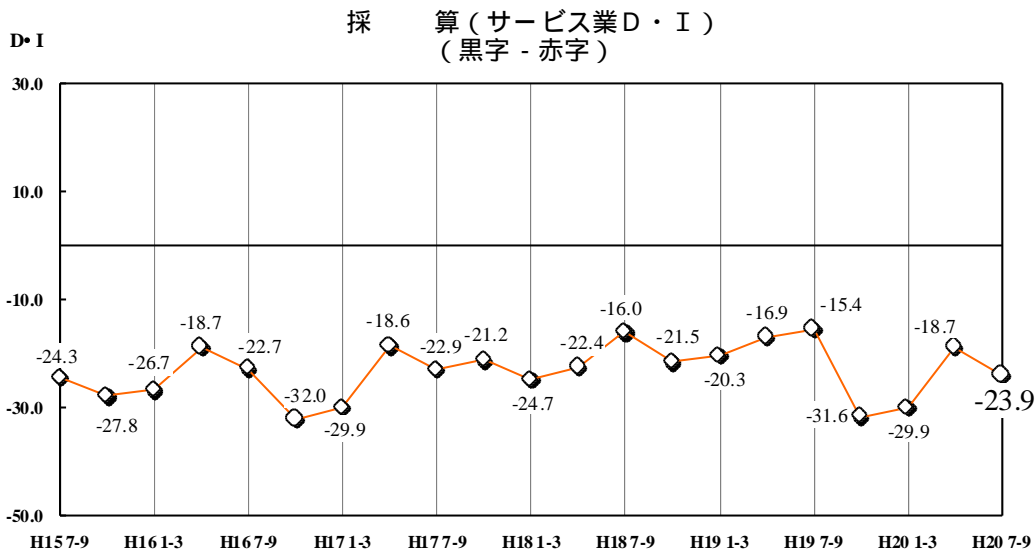


その他 (D・I値)

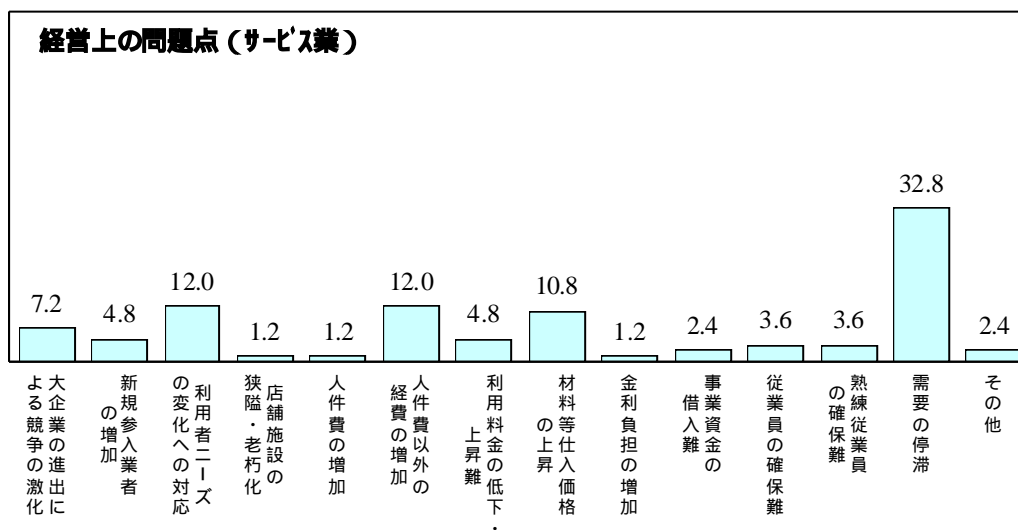
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	39.1	36.0	43.0 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	22.3	20.0 (今期比)
短期 "	-----	20.3	13.0 (今期比)
商品在庫数量	21.3	-----	25.0 (前年同期比)

(5) サービス業





経営上の問題点



その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	36.4	31.1	32.9 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	21.2	25.9 (今期比)
短期 "	-----	20.0	22.84 (今期比)
利 用 客 数	36.7	25.6	33.0 (前年同期比)

業種別調査資料

1. 製造業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区分	今期(平成20年7月～9月)の水準			
	↑	↔	↓	D・I
業況(自社)	10.2	37.3	52.5	-42.3
生産に対する原材料在庫	5.4	91.0	3.6	1.8
売上に対する製品在庫	8.3	83.4	8.3	0.0
採算(経常利益)	13.6	59.3	27.1	-13.5
引合	10.5	31.6	57.9	-47.4
生産設備	12.5	83.9	3.6	8.9
従業員(含臨時・パート)	6.9	91.4	1.7	5.2

↑: 良い、過剰、黒字、活発
 ↔: ぶつう、適正、収支トントン
 ↓: 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成19年7月～9月)に比べて				前期(平成20年4月～6月)に比べて				前年同期(平成19年10月～12月)と比べた 来期(平成20年10月～12月)の見通し			
	↑	↔	↓	D・I	↑	↔	↓	D・I	↑	↔	↓	D・I
A 売上(加工)額	22.0	30.5	47.5	-25.5	32.2	33.9	33.9	-1.7	16.9	49.2	33.9	-17.0
B 売上(加工)単価	25.4	54.3	20.3	5.1	25.4	59.3	15.3	10.1	27.1	57.6	15.3	11.8
C 売上(加工)数量	15.3	35.6	49.1	-33.8	23.7	42.4	33.9	-10.2	16.9	42.4	40.7	-23.8
D 資金繰り	5.1	62.7	32.2	-27.1	6.8	66.1	27.1	-20.3	8.5	59.3	32.2	-23.7
E 輸出入額	18.2	81.8	0.0	18.2					15.4	84.6	0.0	15.4
F 原材料仕入単価	84.2	15.8	0.0	84.2					77.2	22.8	0.0	77.2
G 原材料在庫数量	7.3	69.1	23.6	-16.3					8.9	75.0	16.1	-7.2
H 製品在庫数量	3.9	74.5	21.6	-17.7					1.9	78.9	19.2	-17.3
I 採算(経常利益)	11.9	40.7	47.4	-35.5					13.6	45.7	40.7	-27.1
J 従業員(含臨時・パート)	5.2	72.4	22.4	-17.2					0.0	84.2	15.8	-15.8
K 外部人材(請負・派遣)	12.5	71.9	15.6	-3.1					8.6	82.8	8.6	0.0
L 設備操業率	8.8	57.9	33.3	-24.5					10.5	61.4	28.1	-17.6
M 引合	16.4	38.2	45.4	-29.0								
N 受注残	1.9	53.9	44.2	-42.3								
O 業況(自社)	13.6	33.9	52.5	-38.9	15.3	45.7	39.0	-23.7	13.8	44.8	41.4	-27.6
	前年同期(平成19年7月～9月)に比べて				前期(平成20年4月～6月)に比べて				今期(平成20年7月～9月)と比べた 来期(平成20年10月～12月)の見通し			
P 受取手形期間					2.3	97.7	0.0	2.3	4.5	95.5	0.0	4.5
Q 長期資金借入難度					3.7	81.5	14.8	-11.1	1.9	85.1	13.0	-11.1
R 短期資金借入難度(含手形割引)					3.7	85.2	11.1	-7.4	1.9	90.7	7.4	-5.5
S 借入金金利					15.4	75.0	9.6	5.8	13.5	78.8	7.7	5.8

↑: 増加 ↑: 上昇 ↑: 好転 ↑: 長期化 ↑: 容易
 ↔: 不変(A, C, E, G, H, J, K, M, N) ↔: 不変(B, F, L, S) ↔: 不変(D, I, O) ↔: 不変(P) ↔: 不変(Q, R)
 ↓: 減少 ↓: 低下 ↓: 悪化 ↓: 短期化 ↓: 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区分	実施・計画している	実施・計画していない								
		土地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	13.8	25.0	12.5	25.0	0.0	37.5	25.0	0.0	0.0	86.2
来期	8.6	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	91.4

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	0.0	1.9
新規参入業者の増加	0.0	1.9
製品ニーズの変化への対応	1.9	7.4
生産設備の不足・老朽化	0.0	11.1
生産設備の過剰	0.0	0.0
原材料価格の上昇	49.8	77.8
原材料の不足	0.0	1.9
人件費の増加	3.7	11.1
原材料費・人件費以外の経費の増加	0.0	20.4
製品(加工)単価の低下・上昇難	9.3	53.7
金利負担の増加	0.0	0.0
取引条件の悪化	3.7	11.1
事業資金の借入難	1.9	9.3
従業員の確保難	0.0	3.7
熟練技術者の確保難	1.9	3.7
需要の停滞	27.8	57.4
その他	0.0	0.0

2. 建設業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区 分	今 期(平成20年 7月～ 9月)の水準			
	↗	↘	↗	D・I
業 況(自 社)	2.9	37.7	59.4	-56.5
採 算(経常利益)	7.4	47.0	45.6	-38.2
引 合 計	4.8	38.7	56.5	-51.7
従 業 員(含臨時・パート)	10.4	80.6	9.0	1.4

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ぶつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成19年 7月～ 9月)に比べて				前期(平成20年 4月～ 6月)に比べて				前年同期(平成19年10月～12月)と比べた 来 期(平成20年10月～12月)の見通し			
	↗	↘	↗	D・I	↗	↘	↗	D・I	↗	↘	↗	D・I
A 完成工事(請負工事)額	11.8	25.0	63.2	-51.4	23.2	37.7	39.1	-15.9	5.8	29.0	65.2	-59.4
B 資 金 繰 り	1.5	61.7	36.8	-35.3	2.9	63.3	33.8	-30.9	2.9	42.6	54.5	-51.6
C 受注(新規契約工事)額	10.1	20.3	69.6	-59.5					7.2	21.7	71.1	-63.9
D 材 料 仕 入 単 価	83.8	14.7	1.5	82.3					79.4	20.6	0.0	79.4
E 採 算(経常利益)	2.9	35.3	61.8	-58.9					2.9	25.0	72.1	-69.2
F 従 業 員(含臨時・パート)	7.4	69.1	23.5	-16.1					2.9	72.1	25.0	-22.1
G 外部人材(請負・派遣)	11.7	66.6	21.7	-10.0					8.3	68.4	23.3	-15.0
H 引 合 計	11.7	30.0	58.3	-46.6								
I 契約残(未消化工事高)	9.1	27.3	63.6	-54.5								
J 業 況(自 社)	1.4	39.1	59.5	-58.1	7.2	46.4	46.4	-39.2	1.5	38.8	59.7	-58.2
K 受 取 手 形 期 間					6.0	90.0	4.0	2.0	6.0	42.0	49.3	-40.6
L 長 期 資 金 借 入 難 度					8.2	68.8	23.0	-14.8	4.9	70.5	24.6	-19.7
M 短 期 資 金 借 入 難 度(含手形割引)					9.8	72.2	18.0	-8.2	4.9	75.4	19.7	-14.8
N 借 入 金 利					21.3	77.1	1.6	19.7	16.7	78.3	5.0	11.7

↗ : 増加
 - : 不変(A, C, F, G, H, I)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変(D, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変(B, E, J)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 長期化
 - : 不変(K)
 ↘ : 短期化
 ↗ : 容易
 - : 不変(L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	建 物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	13.2	11.1	0.0	11.1	11.1	22.2	22.2	0.0	44.4	86.8
来 期	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	97.1

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問 題 点	1 位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	0.0	7.7
新規参入業者の増加	4.6	7.7
材料単価の上昇	10.8	56.9
材料の入手難	0.0	0.0
人件費の増加	0.0	1.5
材料費・人件費以外の経費の増加	0.0	13.8
請負単価の低下・上昇難	18.5	53.8
下請単価の上昇	0.0	1.5
金利負担の増加	0.0	3.1
取引条件の悪化	4.6	16.9
事業資金の借入難	4.6	10.8
従業員の確保難	0.0	0.0
熟練技術者の確保難	1.5	1.5
下請業者の確保難	0.0	0.0
官公需要の停滞	30.8	50.8
民間需要の停滞	24.6	63.1
そ の 他	0.0	0.0

3.卸売業

(1) 今期の水準

(単位: %)

区 分	今 期(平成20年 7月～ 9月)の水準			
	今	期	前	D-I
業 況 (自 社)	5.5	37.0	57.5	-52.0
売 上 に 対 す る 商 品 在 庫	21.9	75.4	2.7	19.2
採 算 (経 常 利 益)	16.4	53.5	30.1	-13.7
引 合 計	2.8	46.5	50.7	-47.9
従 業 員 (含 臨 時 ・ パ ー ト)	4.4	83.8	11.8	-7.4

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ぶつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成19年 7月～ 9月)に比べて				前期(平成20年 4月～ 6月)に比べて				前年同期(平成19年10月～12月)と比べた 来 期(平成20年10月～12月)の見通し			
	前	年	同	D-I	前	期	前	D-I	前	年	同	D-I
A 売 上 単 価	17.6	32.4	50.0	-32.4	20.3	40.5	39.2	-18.9	12.2	37.8	50.0	-37.8
B 売 上 単 価	42.5	43.8	13.7	28.8	28.8	63.0	8.2	20.6	32.9	56.1	11.0	21.9
C 資 金 繰 り	0.0	74.0	26.0	-26.0	1.4	80.8	17.8	-16.4	1.4	71.2	27.4	-26.0
D 商 品 仕 入 単 価	71.6	23.0	5.4	66.2					60.8	35.1	4.1	56.7
E 商 品 仕 入 数 量	14.9	41.9	43.2	-28.3					12.2	51.3	36.5	-24.3
F 商 品 在 庫 数 量	12.3	48.0	39.7	-27.4					10.8	52.7	36.5	-25.7
G 採 算 (経 常 利 益)	8.2	42.5	49.3	-41.1					9.5	45.9	44.6	-35.1
H 従 業 員 (含 臨 時 ・ パ ー ト)	1.4	78.3	20.3	-18.9					1.4	85.6	13.0	-11.6
I 外 部 人 材 (請 負 ・ 派 遣)	4.0	92.0	4.0	0.0					2.0	92.1	5.9	-3.9
J 引 合 計	7.2	49.3	43.5	-36.3								
	4.1	47.3	48.6	-44.5	5.4	58.1	36.5	-31.1	5.5	53.4	41.1	-35.6
K 業 況 (自 社)	前年同期(平成19年 7月～ 9月)に比べて				前期(平成20年 4月～ 6月)に比べて				今 期(平成20年 7月～ 9月)と比べた 来 期(平成20年10月～12月)の見通し			
									12.3	50.7	37.0	-24.7
L 受 取 手 形 期 間					3.3	96.7	0.0	3.3	1.7	98.3	0.0	1.7
M 長 期 資 金 借 入 難 度					5.8	79.7	14.5	-8.7	7.4	79.4	13.2	-5.8
N 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					7.5	82.1	10.4	-2.9	7.5	82.1	10.4	-2.9
O 借 入 金 利					13.2	85.3	1.5	11.7	19.4	79.1	1.5	17.9

↗ : 増加
 - : 不変 (A, E, F, H, I, J)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B, D, O)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (C, G, K)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 長期化
 ↘ : 短期化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (L)
 ↘ : 困難
 - : 不変 (M, N)

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	店 舗	倉 庫	車 両 ・ 運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	8.1	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	66.7	0.0	0.0	91.9
来 期	9.6	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	71.4	0.0	0.0	90.4

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大 企 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	2.9	7.2
メ ー カ ー の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	2.9	7.2
小 売 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	2.9	8.7
新 規 参 入 業 者 の 増 加	0.0	0.0
店 舗 ・ 倉 庫 の 狭 隘 ・ 老 朽 化	0.0	4.3
商 品 在 庫 の 過 剰	1.4	5.8
人 件 費 の 増 加	0.0	1.4
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	8.7	29.0
販 売 単 価 の 低 下 ・ 上 昇 難	7.2	33.3
仕 入 単 価 の 上 昇	17.4	55.1
金 利 負 担 の 増 加	0.0	4.3
代 金 回 収 の 悪 化	2.9	11.6
事 業 資 金 の 借 入 難	1.4	11.6
従 業 員 の 確 保 難	0.0	1.4
需 要 の 停 滞	50.9	76.8
そ の 他	1.4	4.3

4. 小 売 業

(1) 今期の水準

(単位: %)

区 分	今 期(平成20年 7月～ 9月)の水準			
	↑		↓	D・I
業 況(自 社)	10.7	31.0	58.3	-47.6
売上に対する原材料在庫	17.6	89.5	12.9	4.7
採 算(経常利益)	9.4	48.2	42.4	-33.0
従 業 員(含臨時・パート)	2.6	88.4	9.0	-6.4

↑ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ぶつう、適正、収支トントン
 ↓ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成19年 7月～ 9月)に比べて				前期(平成20年 4月～ 6月)に比べて				前年同期(平成19年10月～12月)と比べた 来 期(平成20年10月～12月)の見通し			
	↑		↓	D・I	↑		↓	D・I	↑		↓	D・I
A 売 上 額	15.7	30.3	54.0	-38.3	21.6	29.5	48.9	-27.3	12.5	34.1	53.4	-40.9
B 客 単 価	7.9	40.4	51.7	-43.8	13.6	40.9	45.5	-31.9	10.2	38.6	51.2	-41.0
C 客 数	11.2	39.3	49.5	-38.3	20.5	40.9	38.6	-18.1	6.8	44.3	48.9	-42.1
D 資 金 繰 り	3.4	54.1	42.5	-39.1	7.0	50.0	43.0	-36.0	2.3	52.4	45.3	-43.0
E 商 品 仕 入 単 価	42.1	40.9	17.0	25.1					42.5	41.4	16.1	26.4
F 商 品 仕 入 額	30.7	31.8	37.5	-6.8					32.2	29.9	37.9	-5.7
G 商 品 在 庫 数 量	9.0	60.7	30.3	-21.3					9.1	56.8	34.1	-25.0
H 採 算(経常利益)	5.7	37.5	56.8	-51.1					3.5	39.5	57.0	-53.5
I 従 業 員(含臨時・パート)	1.2	85.4	13.4	-12.2					2.4	91.5	6.1	-3.7
J 外 部 人 材(請負・派遣)	3.6	92.8	3.6	0.0					1.9	94.4	3.7	-1.8
K 業 況(自 社)	8.0	36.8	55.2	-47.2	12.5	42.0	45.5	-33.0	5.8	47.7	46.5	-40.7
L 長 期 資 金 借 入 難 度					6.6	64.5	28.9	-22.3	11.8	48.2	40.0	-28.2
M 短 期 資 金 借 入 難 度(含手形割引)					1.4	76.9	21.7	-20.3	2.9	81.2	15.9	-13.0
N 借 入 金 利					20.3	75.6	4.1	16.2	17.8	79.5	2.7	15.1

↑ : 増加
 - : 不変(A, C, F, G, I, J)
 ↓ : 減少

↑ : 上昇
 - : 不変(B, E, N)
 ↓ : 低下

↑ : 好転
 - : 不変(D, H, K)
 ↓ : 悪化

↑ : 容易
 - : 不変(L, M)
 ↓ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	店 舗	販 売 設 備	車 両・運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	10.3	0.0	22.2	33.3	33.3	11.1	22.2	0.0	11.1	89.7
来 期	4.7	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0	95.3

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大・中型店の進出による競争の激化	17.5	32.9
同 業 者 の 進 出	5.9	7.1
購 買 力 の 他 地 域 へ の 流 出	7.1	17.6
消 費 者 ニ ー ズ の 変 化 へ の 対 応	5.9	35.3
店 舗 の 狭 隘・老 朽 化	0.0	2.4
駐 車 場 の 確 保 難	4.7	8.2
商 品 在 庫 の 過 剰	0.0	3.5
人 件 費 の 増 加	1.2	5.9
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	2.4	17.6
販 売 単 価 の 低 下・上 昇 難	12.9	34.1
仕 入 単 価 の 上 昇	11.8	31.8
金 利 負 担 の 増 加	0.0	3.5
代 金 回 収 の 悪 化	0.0	3.5
事 業 資 金 の 借 入 難	0.0	3.5
従 業 員 の 確 保 難	1.2	5.9
需 要 の 停 滞	29.4	54.1
そ の 他	0.0	1.2

5. サービス業

(1) 今期の水準

(単位: %)

区 分	今 期(平成20年 7月～ 9月)の水準			
	↗	↘	↘	D・I
業 況(自 社)	2.2	43.5	54.3	-52.1
採 算(経常利益)	8.7	58.7	32.6	-23.9
従 業 員(含臨時・パート)	6.0	88.0	6.0	0.0

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ぶつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成19年 7月～ 9月)に比べて				前期(平成20年 4月～ 6月)に比べて				前年同期(平成19年10月～12月)と比べた 来 期(平成20年10月～12月)の見通し			
	↗	↘	↘	D・I	↗	↘	↘	D・I	↗	↘	↘	D・I
A 売 上(収 入) 額	11.8	34.4	53.8	-42.0	11.8	38.7	49.5	-37.7	11.8	37.6	50.6	-38.8
B 客 単 価	4.3	55.5	40.2	-35.9	3.3	69.5	27.2	-23.9	4.3	58.7	37.0	-32.7
C 利 用 客 数	8.9	45.5	45.6	-36.7	11.1	52.2	36.7	-25.6	8.8	49.4	41.8	-33.0
D 資 金 繰 り	0.0	63.6	36.4	-36.4	3.4	62.1	34.5	-31.1	2.3	62.5	35.2	-32.9
E 仕 入 単 価(材 料 等)	53.4	38.6	8.0	45.4					50.0	42.0	8.0	42.0
F 採 算(経 常 利 益)	3.3	47.8	48.9	-45.6					5.4	47.9	46.7	-41.3
G 従 業 員(含 臨 時 ・ パ ー ト)	8.2	80.0	11.8	-3.6					8.2	81.2	10.6	-2.4
H 外 部 人 材(請 負 ・ 派 遣)	7.0	77.2	15.8	-8.8					7.0	77.2	15.8	-8.8
I 業 況(自 社)	4.4	45.1	50.5	-46.1	5.6	50.0	44.4	-38.8	6.6	42.9	50.5	-43.9
L 長 期 資 金 借 入 難 度					4.7	69.4	25.9	-21.2	11.0	46.1	42.9	-31.9
M 短 期 資 金 借 入 難 度(含 手 形 割 引)					3.8	72.4	23.8	-20.0	3.8	69.6	26.6	-22.8
N 借 入 金 利					15.7	75.9	8.4	7.3	15.7	78.3	6.0	9.7

↗ : 増加
 - : 不変(A, C, G, H)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変(B, E, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変(D, F, I)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 容易
 - : 不変(L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	建 物	サービ 設備	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	15.2	14.3	14.3	21.4	28.6	21.4	21.4	7.1	7.1	84.8
来 期	13.0	0.0	16.7	50.0	8.3	33.3	33.3	0.0	16.7	87.0

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	7.2	13.3
新規参入業者の増加	4.8	14.5
利用者ニーズの変化への対応	12.0	38.6
店舗施設の狭隘・老朽化	1.2	6.0
人件費の増加	1.2	8.4
人件費以外の経費の増加	12.0	33.7
利用料金の低下・上昇難	4.8	21.7
材料等仕入単価の上昇	10.8	39.8
金利負担の増加	1.2	3.6
事業資金の借入難	2.4	14.5
従業員の確保難	3.6	4.8
熟練従業員の確保難	3.6	14.5
需要の停滞	32.8	54.2
その他	2.4	4.8